

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和元年6月14日（金） 18：30～20：17

場 所：カルチャープラザ「Eki」（2階）研修室A

出席者：栗山市街地、町内会長・自治会長 54人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 第6次総合計画後期実施計画（別紙1参照）

(2) 栗山町スキー場の廃止（別紙2参照）

(3) 公共料金の見直し

Ⅰ 公共施設使用料の改正（別紙3-1参照）

Ⅱ 下水道料金の変更（別紙3-2参照）

(4) 「町内会・自治会からの質問・意見」に対する回答（資料参照）

(5) 町からの情報提供

Ⅰ 避難行動要支援者名簿（資料1）

Ⅱ 出前型政策・施策説明会の活用（資料2）

(6) 自由懇談

4. その他

5. 閉会

《質疑応答》

【第6次総合計画後期実施計画】

町民：地方創生の資金を活用し、近隣の市町と連携して栗山町の農産物で6次産業化の取り組みを検討できないか。

町長：人口減少対策を講じてはいますが、なかなか結果にはつながっていません。今の段階では、統計どおりに人口が減少している状況ではありますが、その中で6次産業の取り組みも進めており、レンガ倉庫の中でDIY工房の開設やイベントなども行っていくことも計画しています。その整備と合わせて、観光をメインとした組織の設立も計画しており、設立した段階ではさまざまな事業展開を計画していくことになります。企業誘致については、今年は8月に大阪の企業にプレゼンテーションを行う予定であり、一つでも二つでも本町に企業誘致をしていきたいと考えています。さらに、石狩のバイオマス発電に係る施設を本町に誘致する計画もあります。若い世代に本町に来てもらうためには、働く場がなければならないと考えています。

町民：栗山高校に農業の加工技術学科を新設することはできないか。

町長：栗山高校の農業科の新設については、現在進めている栗山高校の魅力づくりについて検討している委員会にお話をさせていただきます。

【栗山町スキー場の廃止】

町民：スキー連盟の方々や小中学校に負担がかからないような取り組みをしてもらいたい。

教育長：教育委員会としましても、子どもたちに負担のかからないように、スキー学習時の移動などに最大限対応できるように、状況把握などに努め対応していきます。スキー連盟の活動についても、他のスキー場で活動はできるがその際の移動手段などへの協力をしてほしいという依頼を受けています。昨年度も研修会や検定会、講習会などの際にバスを手配していますので、今後も同様の対応をさせていただきます。

【自由懇談】

町民：近隣の自治体がお金を出し合って、一カ所に設備の整った病院を建てられないか。

町長：拠点病院を設けることは、効率的で良いことだと思いますが、一つの自治体に広域で病院を建設するための財政拠出など、難しい課題があります。広域も含め、今後設置する検討委員会で、協議していくことになります。

福祉課長：近隣の町村でも病院の老朽化により、建て直しが迫られています。このまま日赤病院を運営していくのか、建て替えをするのか、別の病院を誘致するのか、さまざまな検討を行い、今年度中に方向性を定めて報告したいと考えています。

町民：町内会の副会長も出席する予定だったが、社会福祉協議会の役員会に出席したため、出席できなかった。今後は会議が重ならないような調整をしてもらいたい。

町長：今後、重ならないように開催します。

町民：地震で住宅に被害が出て、立ち退くように言われた場合、民間で対応できれば良いが、件数が多い場合は町で対応してもらえるか。

総務課主幹：今回の地震では16件の一部損壊の被害が出ました。その場合は罹災証明書などを発行して対応してきました。大きな災害の場合は、北海道が行っている住宅に対する支援などがありますので、災害の状況を見ながら対応していきたいと考えています。

町民：建物を壊さなければいけない場合は、公営住宅を貸すことはできるか。

副町長：状況に応じて対応していきたいと思います。